

仕事の差と作文編

森田 紗世

私がSDGsの5番「ジェンダー平等を實現しよう」に興味を持ち、たきかけは、女の子が「私に違う未来があるなんてミ」という広告を見たからです。それに加え、「こんな子いるかな？」という冊子を見て男女雇用機会均等法などの男女の「仕事の差」を実感しました。

その仕事の差というのも、女性家事、男性は仕事という決めつけも影響しています。そのため、男性が仕事をする割合の方が圧倒的に多いのです。

男性の多い仕事を考えてみて下さい。私の場合だと、社長や警察、消防士、運転手などを考えました。それでは、理由は何でしょう。私の予想になりますが、社長は女の人がある事などで勤務時間が少ないため、大半社長がいない事になるのではないかと考えました。警察は男の人の方が力が強いたりするた

めと考えました。そして消防士は2kg程の服を着るため、同じく力が関係しているのだと考えました。一方の運転手は、興味の違いと考えました。

しかし、インターネッ^ツトで調べるとそうでもない事が分かりました。消防士は、女性に重労働などをしてはいけない、女子保護規定というきまりがあつたためです。(ヤフリー知恵袋を元に作成)運転手は、女性の働きやすいといわれている日中と比べて、バスやタクシー

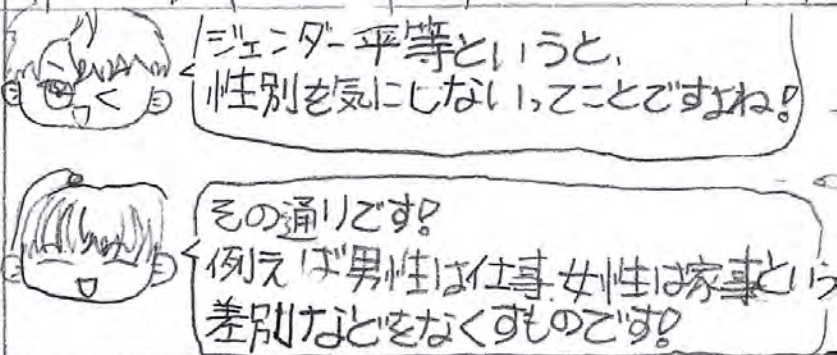
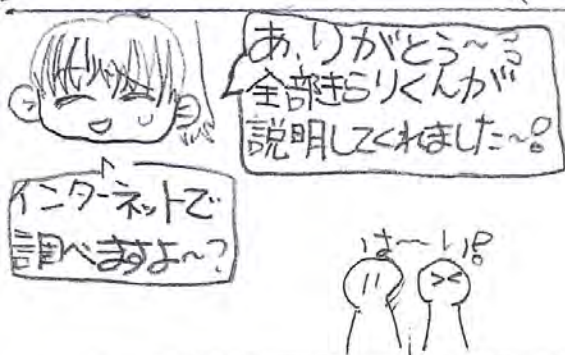
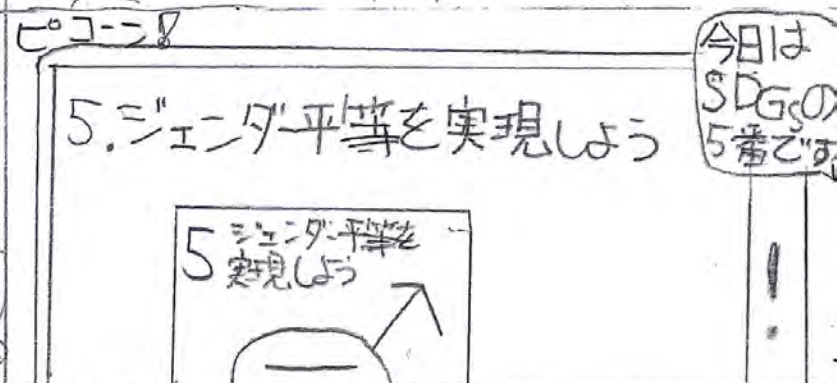
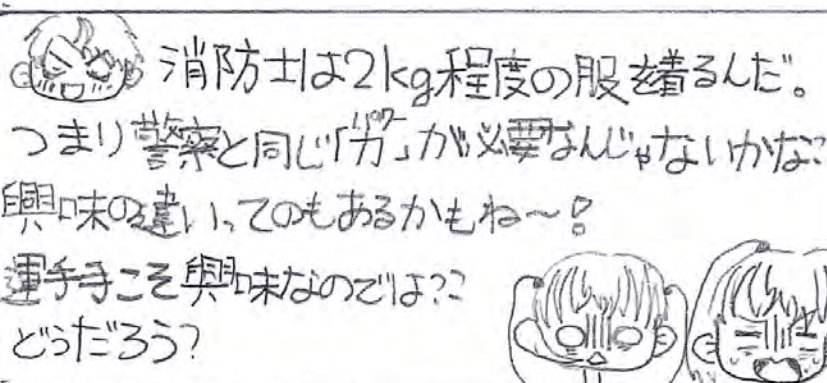
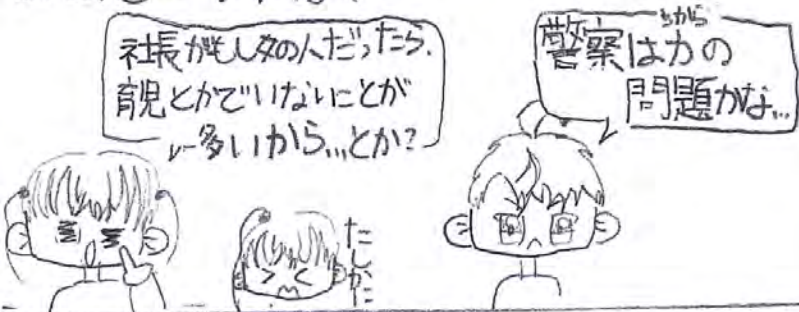
のピークは朝・夜だということが関係しています。大きく分けて、パワーとタイムという事が問題です。力は難しいですが、時間は工夫次第で解決できます。例えば、男の人にも^{*}育休を増やすなどです。

このように、仕事の差はありますが、工夫次第では解決することができます。みなさんが将来の夢を考える時に参考にしてみてください。

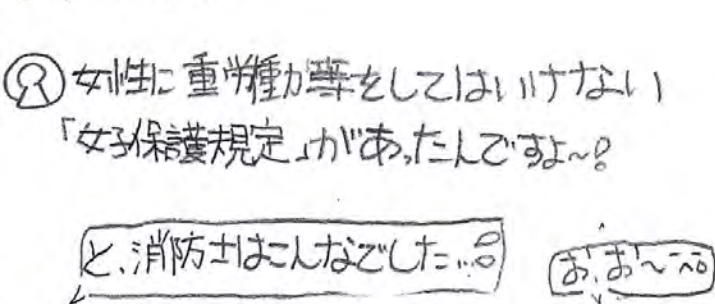
参考：ヤフリー知恵袋・日本運転手求人センター

※乳幼児を保育する期間を認める

Q2. そのワケは?



ヤフー知恵袋



5. ジェンダー平等を実現しよう

